

# 戸畑地区





## 日本水産(ニッスイ)戸畑ビルの『ニッスイパイオニア館』

ニッスイは昭和 4 年には下関から戸畑に移転し、水産物供給のための機能を結集しました。戸畑は製氷、冷蔵・冷凍、加工、流通、販売の機能を備える水産物供給拠点となりました。『ニッスイパイオニア館』は、昭和 11 年建築の『ニッスイ戸畑ビル』に開設しました。洞海湾に面して個性的で魅力ある都市景観の向上に寄与したとして、「北九州市都市景観賞」を受賞しました。

<http://www.nissui.co.jp/frontier/31/02.html>





## アールヌーヴォー様式の『旧松本家住宅』

旧松本家住宅は明治45年、松本健次郎氏により住居と迎賓館を兼ねて建築されました。外観・内装に19世紀にフランスで流行したアールヌーヴォー様式を取り入れた洋館と書院造りの日本館で構成されています。植物模様など流れるような曲線が優美な雰囲気醸し出しています。

<http://www.gururich-kitag.com/search/category/detail.php?id=154>



nostalgie kannnon 2018

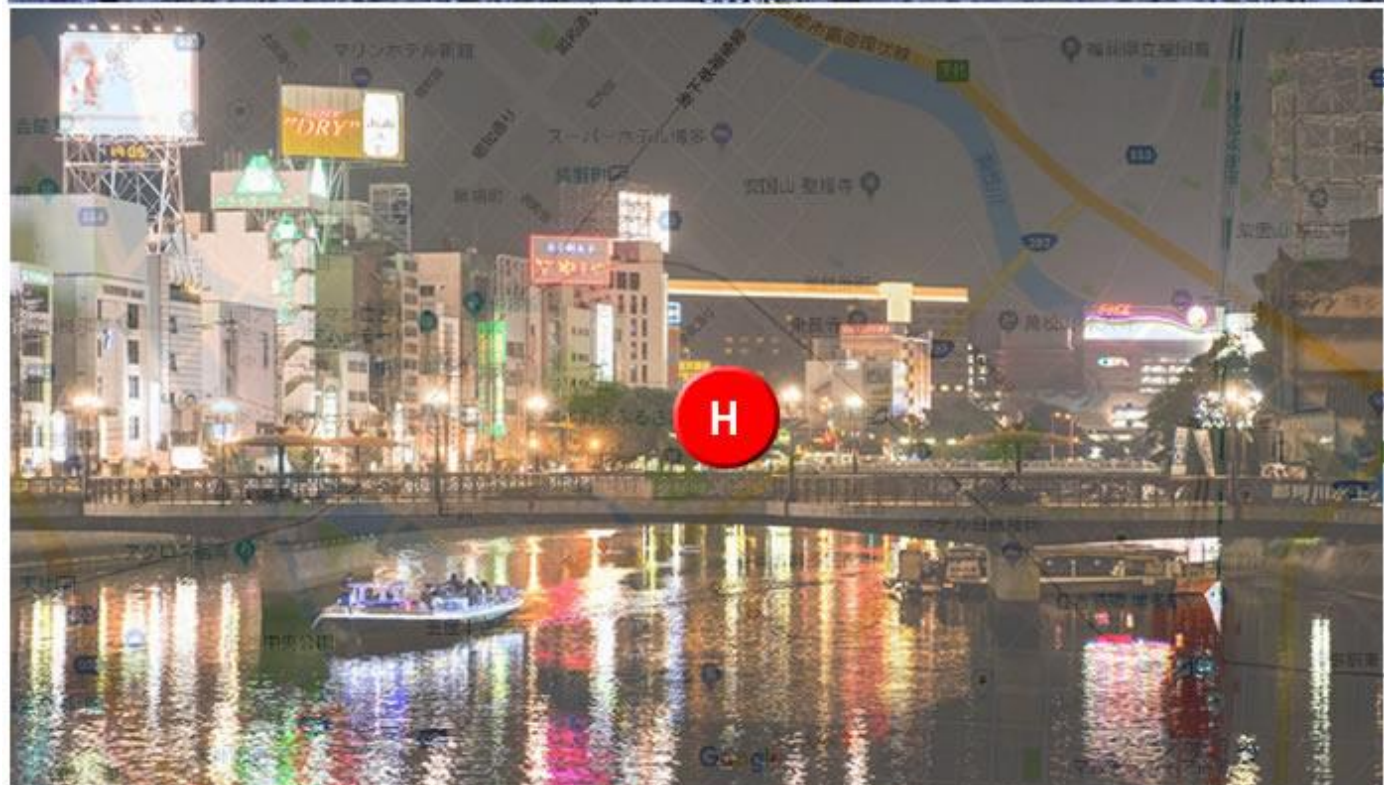
M45 TABATA RETORO



旧松本家住宅



# 博多地区



旅の終わりは、博多で。



## 「博多町家」ふるさと館

明治中期の町屋建築の価値とともに、博多の伝統産業である博多織の生産・販売とその生活を一体としてみることができる唯一現存する町屋である。中では博多織の実演や展示が行われている。みやげ処には博多人形から昔懐かしいお菓子や玩具までを揃える。町屋棟は明治20年代前半に博多織元の住居・店舗兼織り場として建てられた旧三浦家住宅を移築復元したもの。<http://www.hakatomachiya.com/>



nostalgie kannmon 2018



「博多町家」ふるさと館

## 「博多町家」ふるさと館(博多の祭り)

映像シアターで「博多祇園山笠」の臨場感を味わおう。

陽気で明るい博多っ子は祭りが大好き。盛大に行なわれるお祭りだけでなく、四季折々、博多のどこかの町で行われています。博多松囃子は福を願って古くから続く素朴な行事「博多どんたく」です。

<http://www.hakatomachiya.com/event/>





「博多町家」ふるさと館 (博多の町"昨""今")

明治～大正期の街並の写真と現在の写真(同じ位置)を並べて比較展示しています。失われた記憶が蘇ります。

<http://www.hakata-machiya.com/public/exhibition1f>



「博多町家」ふるさと館（明治博多往来図会人形）

朝の“おきゅう”と売りの声で始まる博多の町。往来にはさまざまな商売の振り売り子の声が響いていました。当時の博多の町並みと活気を博多人形で表現しています。

<http://www.hakatomachiya.com/public/exhibition2f>

